

③ 第一に内供の考えたのは、この長い鼻を実際以上に短く見せる方法である。これは人のいないときに、鏡へ向かって、いろいろな角度から顔を映しながら、熱心に工夫を凝らしてみた。どうかすると、顔の位置を変えるだけでは、安心ができなくなって、頬杖をついたり顎の先へ指をあてがったりして、根気よく鏡をのぞいてみることもあった。しかし自分でも満足するほど、鼻が短く見えたことは、これまでにただの一度もない。時によると、苦心すればするほど、かえって長く見えるような気さえした。内供は、こういうときには、鏡を箱へしまいながら、今さらのようにため息をついて、不承不承にまたもとの經机へ観音經を読み帰るのである。

それからまた内供は、たえず人の鼻を気にしていた。池の尾の寺は、僧供講説などのしばしば行われる寺である。寺の内には、僧坊が隙なく建て続いて、湯屋では寺の僧が日ごとに湯を沸かしている。したがってここへ出入する僧俗の類も甚だ多い。内供はこういう人々の顔を根気よく物色した。一人でも自分のような鼻のある人間を見つけて、安心がしたかったからである。だから内供の目には、紺の水干も白の帷子も入らない。まして柑子色の帽子や、椎鈍の法衣などは、見慣れているだけに、あれどもなきがごとくである。内供は人を見ずに、ただ、鼻を見た。——しかし鍵鼻はあっても、内供のような鼻は一つも見当たらない。その見当たらないことが度重なるにしたがって、内供の心はしだいにまた不快になった。内供が人と話しながら、思わずぶらりと下がっている鼻の先をつまんでみて、年甲斐もなく顔を赤めたのは、全くこの不快に動かされての所為である。

最後に、内供は、内典外典の中に、自分と同じような鼻のある人物を見いだして、せめても幾分の心やりにしようにさえ思ったことがある。けれども、目連

本文を読み、空欄に適切な文章・語句を記入しなさい。

第三段落(一四〇頁・二行目、一四二頁・二行目)

自尊心の毀損を回復(一四〇頁・一)するための試み

① 長い鼻を実際以上に短く見せる方法

↓ どうやった？

※成功か失敗か

結果は・・・(しかし)

※自分でも満足するほど、鼻が短く見えたことは、これまでにただの一度もない。(今さらのようにため息をつく)

② 人々の顔を根気よく物色した

↓ なぜ？

から。

※成功か失敗か

結果は・・・(しかし)

※鍵鼻はあっても、内供のような鼻は一つも見当たらない。(心はしだいにまた不快になった)

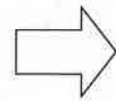
● 「人々」 ↓ 誰？

※僧か俗か

( )

( )

- ・ 紺の水干 (を着ている人)
- ・ 白の帷子 (を着ている人)
- ・ 柑子色の帽子 (をかぶっている人)
- ・ 椎鈍の法衣 (を着ている人)



か  
換  
ん  
喩  
ゆ  
表  
現

これがサカサマ漢語だ！

- ① 理想を□□したいが□□は厳しい。
- ② 二人にはどんな未来が待っているのだろう。  
 婚約□□の□□を<sup>占</sup>み<sup>て</sup>みる。
- ③ 展覧会で□□を受賞して□□まで賞  
 った。
- ④ 彼は□□した末に頭を丸め、とうとう  
 □□してしまった。  
<sup>現金</sup>を<sup>げ</sup>て<sup>く</sup>て
- ⑤ 必ず□□金は払う。でも全部、小□□  
 でいいだろ？
- ⑥ □□録で囲碁の□□の住所を調べる。
- ⑦ <sup>威</sup>威<sup>し</sup>て□□に入つて初めて□□の厳しさを  
 知った。
- ⑧ この新鮮な□□は私が今朝、牧場の□□  
 □□から<sup>は</sup>採ったものです。
- ⑨ あんな□□に□□など無い。まるく  
 きり欠点だらけだ。
- ⑩ あの事件□□は出勤していたのに、バイ  
 トだからといって未だに□□の五〇〇  
 〇円を支払ってくれないのです。

《場面を思い描く・文脈をとらえる》

( 組 ) ( 番 ) ( 氏名 )

三、

さて部員は何人でしょうか？

- ① 部員□□人が□□坊主！
- ② マネージャーは□□人分のユニフォームを□□した。
- ③ 的を狙つて□□を□□きしぼる。
- ④ □□様の座るところが□□座である。
- ⑤ □□歩計をつけてから、銀座□□面に散策に行く。
- ⑥ 夏はにきわう□□学のそばの心□□屋。

四、五木寛之の小説『風の王国』の中に「天無人神護」という集団が登場した。それに関  
 連して、次にあげる各語がいかなる数を表しているのかを示せ。

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| A 罪無非 | B 王無中 | C 交無人 |
| D 針不金 | E 天無人 | F 分無刀 |
| G 切不刀 | H 吾無口 | I 大無人 |
| J 丸不点 |       |       |

世界史B課題

2CD

- ・世界史の教科書をレポート用紙に写し、内容を理解しなさい。

「ロシア革命（二月革命と十月革命）」

P257 8行目～P258 14行目まで